

学生戦線

14 社会主義学生同盟
2-1 市大支部発行

協議会の「拒否権」全方面拒否、
斗争は殺を粉碎し

教養部封鎖を貫徹せよ

全学試験ボイコット無期
限スト体制を構築せよ

(全学連(連)結成)

以上その人、ラフ人、女子部に由りて来た
自公心を結成せよ。

昨年十月に結成され、現在、全医学部無期限ス
ト、看護連診療ボイコットとして教養部を封鎖し、

拒否し、そしてその拒否の内幕を我々に知らせる
過程で、協議会を構成している各学部長の大学存在

の規定、思想科等の規定の反人権性、無批判性、体
制を不満足と暴露され、現在の大学管理機構はも

とより、現在の市大の侵略と反革命に乗り出すこと
するが本学連の中心は、中高及び大学部生を結
わねばならぬとあり、そのための教育そのものに
も根本的な我々の改革が必要とされている事、増々
明確になった。

大学協議会の面々、拒否権否定の、最も基
本的で最も本質的な理由は、現行法規内では不可能
である、という事だった。それを言う時、彼らは現
体制、帝国主義の側に身を寄せているのを意識して
の上で、更に、今の村松メチャメチャになる、
とね、入学試験まで荒らされては、とね、大学と
して、相互不信の上にあり、拒否権は認め難い、

とあの言葉を付け加えるのである。彼らの口に出るもの
のものは、各々帝国主義的大学の体制を拒否しているものであ
り、それこそ前提にした上で、相互信頼など成り立つに
おけないのである事を我々は知つてゐる。

我々はこの様な大学協議会の態度を許して許す事は出来
ないし、大学民主化協議会なるものを設置して、徹
く討論してこのことという、話し合い路線で斗争收拾策を
を断固粉碎しなければならぬ。

大学協議会と最終的に決裂した現在、我々は取り得る戦
術は封鎖斗争によつて実行で彼らに認めさせる以外にはな
い。我々は、医学部拒否権斗争を全学連の中心意識として
部隊と共に、全学連委員会準備会を結成し、その部隊二
百によつて、今朝未明、教養部を封鎖した。

全この学友は、この封鎖斗争を断固として支持し、
現在行なわれている試験ボイコットし、全学連無期限ス
トと更に斗争を拡大し、断固にせよ。

既に組織化されつゝある文芸部、理工学部、
争委員会に続き、各学部、各サークル、各クラスに斗争委
員会を組織せよ。

医学部教授組合の田中十民青を軸に結合しつゝある、
大学当局と学内反動勢力の斗争破壊海軍を粉碎せよ。
根底的な大学革命のために、大衆院主、助手は斗争委員
会を組織し、全学連と共に決起せよ。

↓↓ウツハ

②拒否権闘争とは、
何なり？

これは一体我々が獲得せんとして
 闘っている拒否権とは何であるの
 か。この我々は、拒否権獲得と、
 拒否権獲得闘争との相異なるを
 明確にしおねねはならない。即
 ち拒否権の制度的獲得は、現行法
 規をひき出すこととするが、それを
 行使する主体の成熟は限り、
 それをたとえ持つことも何の意
 義もないのだ。現在、全日学闘争
 争は、全共闘の形態、即ち、既存
 の自治会として最初より多数派と
 して闘争を展開する形なり、最初
 は少数派として私的の機関から出
 発しながらも、斗争の過程におい
 て左右の分解を多く進し、多数派
 を高度なまでに一致させたコンミュ
 ーの団結の下に形成する、その
 ような全共闘が闘い抜いているの
 である。それ故、拒否権を獲得し
 にしても、ブルジョアの奴隷主
 義的自治組織の下では、それは、
 十分な執行はなされ得ないのであ
 る。

問題は主体の成熟とその斗争戦
 線の方向性である。正にそれを我
 々は、非和解的な、拒否権獲得斗
 争の中で構築しなければならないの
 であり、その中でしか獲得し得
 ないのである。そして、この戦線
 の方向は、断じて拒否権獲得にと
 まるべきではない、否、とどま
 る事は不可能である。我々は、現

集会起決総国学全2日 本日

講演 教授大京 清井 4日

410教室 ↓

在の市大の姿、教員の姿、学問の姿、我々に如
 実と示しているように、常にそれが存在している
 相違一現在に於ては帝制主義に規制されざる
 を得ず、自立と自治とは単なる理念にのみ存在
 しない事を知っている。それ故、斗争戦線は、帝
 国主義的大学の粉砕から、日本帝国主義打倒、安
 保粉砕へとつき進まねばならない。

③全日学国闘争と結合、
 全日の闘う労働者人民と
 結合、市大を安保粉砕
 の誓とせよ。

現在、全日七の教大に於てストライキ斗争は
 展開されてあり、昨日現在、二十六大学において
 封鎖斗争としてそれの斗争が起っている。今朝の教養
 三多封鎖によって、それに市大が加わり、その
 数日二十七日まで、た続く。その全日学闘争の中
 で、我々、社会主義学生同盟の部隊は、東大、中
 大、日大、京大、阪大、立命大、明治学院大、樹
 木学園大の最もシビアな斗争を闘っている学園の
 斗争を領導しており、帝国主義下の大学一労働力
 再生と和議を停止させる事により、全日の帝国主
 義打倒と日々不断的斗争を続けている。労働者、
 農民、人民と連帯している。

とりわけ、関西に於て、三日立大と市大が封鎖
 斗争を展開している事は、国家権力にとって、そ
 れをいかにくわくわくしている。労働力を失う可能性
 を持つ、この政治的攻撃である。

全日大の封鎖と連帯。我々三多封鎖を断固防
 衛し、拒否権獲得斗争の推進と拡大をいかにせよ。
 試みないコトに決定し、全学無期課ストリ
 入試阻止を目標とせよ。

市大を全人民的大に攻撃し、全人民的政府の
 場とせよ。

市大を安保粉砕の誓に。